



日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

愛知県支部

広報誌

日赤あいち

No. 137
2019.冬



「NHK海外たすけあい」へのご協力をありがとうございました

- はたちの献血キャンペーンスタート
- 救護活動のレベルアップを目指して
- 博物館明治村でブースを展開
- 海外のJRCメンバーが愛知県に！



日本赤十字社 愛知県支部
Japanese Red Cross Society

日赤あいち

〒461-8561 名古屋市東区白壁1-50 TEL052-971-1591(代表)
発行元/日本赤十字社愛知県支部 発行日/平成31年1月1日



活動の詳細や最新情報は
ウェブサイトかツイッターへ

日赤愛知
www.aichi.jrc.or.jp



半田市赤十字奉仕団

東海市赤十字奉仕団

今号の奉仕団 東海市赤十字奉仕団

委員長 鎌田 允子



地域での講習に注力

東海市赤十字奉仕団は、約120名の団員が、防災訓練での炊き出しやAEDの使い方、三角巾を使った応急手当などの講習を、随時行っています。

昨今、悲しい事故や病氣などのニュースを目にすることが多くなっていることから、パパ、ママをはじめとする地域の方を対象に、幼児安全法の講習や救急法に特に力を入れています。市内の児童館などで、救急法や幼児安全法講習会を実施。参加者も年々増えてきています。

南海トラフ地震などの大規模災害の発生に備えた奉仕団の更なる増員を目的に、市民の方に広く奉仕団の活動を知ってもらい、興味を持ってもらうため、チラシやポスターを作成し、平成31年1月には体験型イベントを開催します。

地域の屋台骨となることを目指し、今後も地域に根ざした奉仕団活動を行っていきます。

愛知県赤十字救急奉仕団

南山大学青年赤十字奉仕団

名古屋学芸大学青年赤十字奉仕団

活動資金

ご協力ありがとうございます

日本赤十字社愛知県支部へ活動資金として多額のご寄付をいただいた法人様

- 富士レジン化工株式会社 様
- 株式会社ニシ 様
- 株式会社ミニミニ 様
- 株式会社ミニテック 様
- 株式会社十六銀行 様
- 藤吉工業株式会社 様
- 一般財団法人坂文種報徳会 様
- 株式会社山忠 様
- 株式会社コロムビア 様
- ひまわりファミリークラブ 様
- 日本プラスチックス・テクノロジーズ株式会社 様

郵便振替口座/00860-1-732 日本赤十字社愛知県支部

郵便局備え付けの払込取扱票でお手続きください。ご不明な点は日本赤十字社愛知県支部事務局 企画振興部赤十字会員課まで。

TEL052-971-1596(直通)



ご協力をお願いいたします

赤十字奉仕団/ ボランティア リレー

ボランティアとして
活躍する奉仕団が
リレー方式で登場

こんな活動をしています
大切な人を守るため

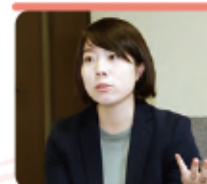
伊オシポイント
地域の屋台骨を目指して
奉仕団員大募集

岡崎市赤十字奉仕団

日進市赤十字奉仕団

クロス サポーターに Interview 聞く!!

日本赤十字社愛知県支部とタイアップし様々な活動に取り組む企業、団体、人物を紹介します。



自社の製品で多くの命を救いたい

阪神淡路大震災の際、多くの住民の命を助けた「救助活動の三種の神器」の一つであるジャッキ。およそ90年にわたる車載搭載用ジャッキを作っている竹内工業は、長い歴史の中で培われた技術や知識を活用し、2018年5月に救助用の「STOレスキュージャッキ」を開発しました。地震などの災害が発生したとき、生き残っていることを前提とした備えだけでなく、まずはみんなを助け合って生き残ることに目を向けてほしいという思いが込められています。

STOレスキュージャッキの特徴は、2.5cmほどの隙間があれば500kgほどの重量



上/防災士として商品を使いながら防災を啓もうします
下/2.5cmの隙間さえあれば救助できる優れたもので、7色を展開



思いから、職員同士で声をかけあい、防災士の資格を取得するための勉強を始めた」と竹内さん。現在は、防災士としての知識や技術を活かして、様々なイベントや防災訓練において、同商品を使いながら防災の啓発活動を行っています。

まずは自分たちが 防災について学ぶこと

営業担当として、より多くの方々に備えることの大切さを感じてほしいとの思いをもっていた竹内亮平さんと三浦凛さんは、民間資格である防災士の資格を取得しました。これまで、防災についての知識が全く無かった我々ですが、弊社の商品で少しでも多くの方の命を救いたいという

同じ理念の 赤十字を支援

現在竹内工業は、STOレスキュージャッキの売上の一部を活動資金として赤十字に寄付することで、命を救う活動のさらなる普及をサポートしています。

「赤十字が国内外を問わず、苦しむ人を救う事業を展開していることは以前から知っていました。こうした赤十字の活動は今後も継続してもらいたいですし、寄付や献血、ボランティアなど赤十字への協力は身近なところから出来るということを多くの方に知ってもらいたいです」と三浦さんは話してくれました。



写真が動き出す!?
スマホで動画をご覧ください!

動画の視聴方法

- 右の二次元コードからフリモARアプリをダウンロードして起動
- マークがついた写真にスマホをかざすと、スキャン後動画が始まります



TOPICS

トピックス

活動やイベントをご報告します

REPORT

救護活動のレベルアップを目指して

「救いたい」の 思いを胸に 訓練や研修を実施

11月27日、愛知県知多市において平成30年度中部管区広域緊急援助隊合同訓練が実施され、愛知県支部の医療救護班が参加。南海トラフ巨大地震を想定し、各県警や消防、自衛隊など500名以上が参加する中、名古屋第一・第二赤十字病院の医療救護班は西知多総合病院のDMAT(災害派遣医療チーム)と連

携した医療救護訓練を実施しました。また12月5日～7日の3日間は、愛知県支部が毎年実施する救護班要員養成研修を実施。同研修においても、豊田市や愛知県警察本部などの関係機関と連携した救護訓練を行う一方、日本赤十字豊田看護大学の学生らは傷病者役や訓練のサポート役として参加し、災害救護の様子を間近で体験しました。今後も愛知県支部では、関係機関と連携し、大規模災害や局地災害への対応力強化に努めてまいります。



左／参加した職員
の姿勢は真剣
そのもの
右／災害発生時
に円滑な医療救
護活動ができる
ように訓練・研
修を実施

EVENT

博物館明治村でイベント

赤十字の歴史を 振り返りながら 楽しく防災を学習

愛知県犬山市にある明治の建築物や文化財を展示する博物館明治村。村内には、明治23年に建設された日本赤十字社中央病院病棟が東京都渋谷区広尾から移築されています。ドイツのハイデルベルグ大学病院を模した二階建レンガ造りの本館、大きな中庭を囲むように病棟が配されており、その中では、時

折、日本赤十字の古文書や資料を活用して企画展示が行われています。11月10、11日の2日間、その日本赤十字社中央病院病棟内に赤十字の救護の歴史をテーマにしたパネルを展示するとともに、それにちなんだ赤十字クイズを行いました。また、愛知県支部の青少年赤十字メンバーによる「ぼうさいまちがいさがし きけんはっけん!」や「いえまですぐろく」など、楽しく防災を学ぶことができるゲームを実施し、多くの親子連れで賑わいました。



左／地震がおきたとき、危ない子どはどの子かな
右／ハートちゃんと一緒に考えました

EVENT

海外と、ともに助け合う

NHK海外たすけあい

12月1日～25日の期間、NHK海外たすけあいキャンペーンを実施。12月5日には、NHK名古屋放送局のラジオ番組内において、海外での医療救護活動経験がある名古屋第二赤十字病院の横江正道医師が海外支援の必要性を語りました。また、県内各地では赤十字奉仕団による街頭募金を実施し、多くの方にご協力いただきました。皆様からいただいたご支援は、世界60カ国の国や地域の人々へお届けします。



街頭募金には赤十字親善大使のグランパスくんも

学生ボランティアによる献血キャンペーン

愛知県内には、県内10大学、11サークルの学生からなるボランティア団体「愛知県学生献血連盟(Aichi Go)」があります。献血を推進する活動を行っており、血液が不足する時期にあわせて年3回、街頭などで献血キャンペーンを開催しています。



友人などを誘って来てください!



愛知工業大学3年生 市橋拓也さん
愛知県学生献血連盟の委員長と
東海北陸ブロック学生献血推進実行委員会副委員長

僕たち同じ世代が呼びかけることで、若い世代が献血に興味を持ち、その重要性を知ることにつながれば、との思いで活動しています。献血は、最初の一歩を踏み出す勇気が大切。周りの人と一緒に、心強いかもしれません。

献血は、身近なボランティアです



名古屋女子大学3年生 山田晴菜さん
愛知県学生献血連盟の庶務と
ステージ統括担当

他大学との交流も盛んで献血の知識もつく連盟の活動にやりがいを感じています。初めての献血は不安や緊張もありますが、献血は病気やけがで苦しんでいる"誰か"の力になれる。私たちはそのきっかけづくりを続けていきます。

あなたの献血を
持っている人が
います



献血シミュレーション

献血ができる年齢は16～69歳

献血の量や種類により区分されており、服薬の有無や海外への渡航歴など様々な基準に基づき、医師が総合的に判断してお願いしています。詳しくは愛知県赤十字血液センターHPをご覧ください

どこでできる?

愛知県内には献血施設が8カ所あります。それ以外にも献血バスが県内各地で献血へのご協力を願っています

献血ルームの魅力

- ①飲み物やお菓子を食べながら、ゆったりとした環境で献血ができる
- ②駅から近く、アクセスも抜群!お買い物帰りや学校帰りに便利
- ③献血中、動画やテレビを見ることができる
- ④季節などに合わせて、独自のイベントを開催!

詳しくはFacebookやHPをご覧ください

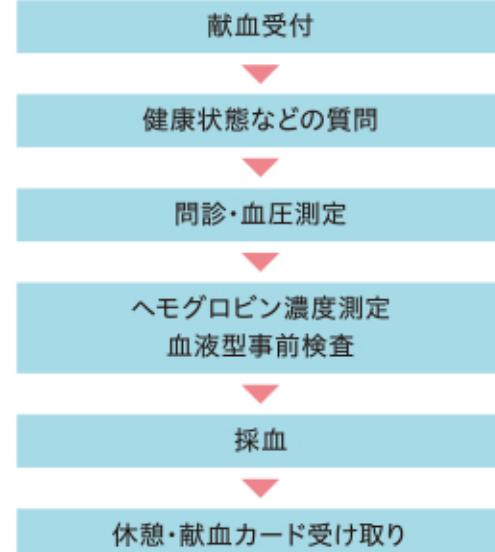
日本一高い
献血ルーム!
献血ルームゲートタワー26

まるで宇宙のような
おしゃれな受付
献血ルームタワーズ20



県内のJRCメンバーと楽しくロジスティ

献血完了までの流れ

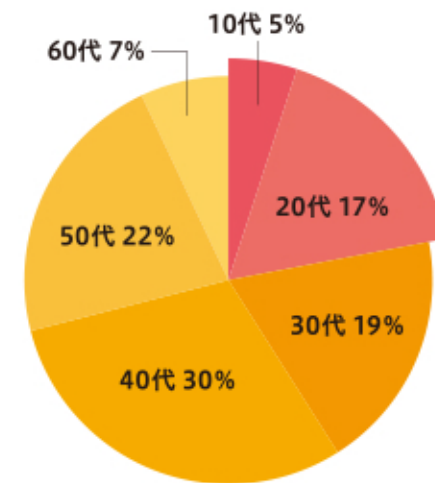


受付～休憩まで、400mLの全血献血ならおよそ40分。実際に針を刺している時間は10～15分(全血献血の場合)

「は たちの献血キャンペーン」は、成人を迎える「はたち」の若者を中心に、献血への理解や協力を呼びかける運動です。献血は原則16歳からできるとされていますが、献血者における16～29歳の割合はわずか2割強(下図参照)。この10年でおよそ30%も減少しています。そのため、成人の日に合わせて1月1日から2月末までの間に行います。さらに、冬期は献血者が減少しがちなことも、キャンペーンの背景にあります。血液を

2019年のキャンペーンキャラクターは女性アイドルグループ乃木坂46のメンバー。「あなたがなければ、つくれないもの」というキャンペーンメッセージでキャンペーンを盛り上げます。様々な技術が発達する現代ですが、未だ血液を人工的に造ることはできず、安定的に血液を供給す

献血者における世代別の割合



若年層を対象とした
献血セミナーを行っています



数字で見る献血豆知識

輸血を受ける
患者さんの人数
1日約3,000人
(全国平均)

がんや白血病などの治療、出産や事故などの大量出血を伴う治療など、多くの患者さんが輸血を必要としています。

血液の有効期間
たったの4日

血液(血液製剤)の有効期限は、血小板製剤が採血後4日間、赤血球製剤が採血後21日間ととても短いのです。

愛知県内の
献血者数
年間272,224人
(H29年度のべ人数)

愛知県の人口は約750万人。そのうち15～69歳は500万人強です。

フリーARで動画をチェック!
ポスターをARで読み取ると
TVCMがご覧いただけます

AR



キャンペーンのポスター

毎年開催される「はたちの献血キャンペーン」は、今年も1月1日～2月28日までの2カ月間、全国で展開されます。どこか他人事にも感じてしまう「献血」の必要性について、改めて考えてみませんか。

クローズ
アップ
CLOSE UP

はたちの献血キャンペーンスタート

いのちをつなぐ、愛のアクション